

<報道関係各位>



<インナーブランド「Rafra Lunica」新商品発表会 イベントレポート>

共同開発者の梅宮アンナさん登壇

乳がん術後の実体験から生まれた『片胸用ブラ』を発表

梅宮さん『この世にないものを作るのが大事！』と開発秘話を語る

毛髪・美容・健康・医療のウェルネス事業をグローバル展開する株式会社アデランス（本社：東京都品川区、代表取締役社長 鈴木 洋昌）は、2026 年 2 月 19 日（木）にインナーブランド「Rafra Lunica（ラフラ ルニカ）」新商品発表会を明治記念館で開催し、2 月 23 日（月）から販売を開始するインナー『片胸用ブラ』（梅宮アンナさんと共同開発）と『前開きブラ』について発表しました。イベントには共同開発者である梅宮アンナさんをお迎えし、新インナーに込めた想いを語っていただきました。



「Rafra Lunica」は、乳がんの治療や乳房の切除手術を受けた患者さまにもご使用いただけるインナーで、刺激に敏感になりやすい術後の肌のことを考えた“優しいフィット感”を最重視した商品です。片胸用と前開きの 2 種類展開で、片胸用に関しては、2024 年に乳がんを発症し、右乳房の全摘出手術を受けたタレントの梅宮アンナさんとの共同開発商品です。記者発表会では当社の医療事業部 渡部瑚乃美より「Rafra Lunica」の詳細について発表した後、梅宮アンナさんと展示会企画室の伊藤あおいによるトークセッションを行いました。

■梅宮アンナさんが語る、『片胸用ブラ』の開発秘話

『片胸用ブラ』の共同開発者である梅宮さんは、2024 年に乳がんの 1 種である浸潤性小葉がん（しんじゅんせいしょうようがん）と診断され、右胸を全摘出しました。

がん発覚時について梅宮さんは「私の場合は胸のサイズが小さく縮んでいく状態で、肉眼で見ても異常だと感じました。それで病院で診察して発見に至りました」と明かしながら「父（故・梅宮辰夫）を筆頭に親戚もがんが多くて、小学生の頃から私自身も将来がんになるのではないかとうっすら思っていました。なので宣告された時は驚きませんでした。自分に順番が回って来たのかと冷静でした」と発見時について回想しました。

診断後の治療については「診断時にはステージ 3A で脇のリンパ節にも転移があったので、抗がん剤、手術、放射線の標準治療のフルコース」と解説し「私の場合は 10 カ月の治療でしたが、乳がんの治療は時間が掛かるもの。これから 10 年間、63 歳までホルモン剤を毎日飲まなければいけません。飲む抗がん剤も服用中です」と現在の状態を説明しました。

23 センチに及ぶ摘出手術に至る心境を聞かれると「全身に広がって行くがんだったので、落胆や悲しみはなくて、一刻も早く切除しなければという思いがありました」と回想。現在は日常生活に支障はないと言うものの、「術後 1 年は本当に辛かったです。脇のリンパ節を取ると手が上がらず、何をしても痛い。睡眠時も常に痛くて睡眠障害にも苦しみました」と闘病生活の日々を赤裸々に語りました。

後ろに手が回らない事から通常の下着も着用する事が出来ず、既存のシームレス下着のタイプも痛すぎて着用を断念したそうで「下着を着けなければいい！では済まされないと思って、術後 10 日くらいから開発に向けて模索を始めました。この世にないものを作るのが大事！」と片胸用インナーの開発経緯を明かしました。

■「勇気と未来を包むためのプレゼント」に込めた思い

トークパート後半では「Rafta Lunica」の開発に携わった当社の展示会企画室、伊藤あおいも登壇。新商品の開発秘話についてトークを展開しました。自身もがんサバイバーである伊藤は「最初は何故片胸のインナーなのかと思っていたけれど、試作品を着けてみたら合点がいった」といい、梅宮さんは「入院中に“こういう商品があったらいいのにな”を具現化したもので、ニーズ的には少ないかもしれないけれど、その少ない人たちに向けて商品を作ってもらいたかった。たった一人で良いから『作ってくれてありがとう』と言ってもらいたかった。そしてアデランスさんのような大きな会社に携わってもらいたいという思いがあった」と開発の狙いを述べました。



また梅宮さんは開発期間について「通院しながら抗がん剤治療中でした。色々な人から『ゆっくり休んで』と言われたけれど、休むと逆に疲れてしまうので、休むのはやめようと思いました。動いて外に出た方が私としては活力が漲った。逆に家でじっとしていた方が具合も悪くなるのでずっと動いていました」と回想。伊藤は「梅宮さんが SNS を通して『片胸用インナーを作りたい！』と発信されたのが全ての始まり。こういう形で新商品が生まれる瞬間を見る事が出来て嬉しかった。梅宮さんと共に、素材、肌触り、ホックの位置もミリ単位でこだわりました」と話しました。

商品パッケージには梅宮さんからの「同じ悩みを知る私たちへ このブラは無くした胸ではなく、あなたの勇気と未来を包むためのプレゼント」という言葉が記されています。このメッセージの意図について梅宮さんは「かつて“女性の象徴は胸だ”と言いきるような風潮もありました。手術で胸が無くなると言われた時に“大丈夫だよ”と言ってくれる人はいませんでした。だから私は“大丈夫だよ！”と言いたい。私と同じように胸を無くしたとしても落ち込まないで欲しいと思う。そんな気持ちがこもっています」と解説しました。

最後に伊藤は『片胸用ブラ』について「梅宮さん無くしては生まれなかった。梅宮さんが感じた患者様の目線・QOL（クオリティ・オブ・ライフ）のみを考えて開発いたしました。日本では9万人以上の方が乳がん罹患するとされています。一人でも多くの方に Rafra Lunica を手に取っていただきたいです」と期待。梅宮さんも「私が世の中に伝えたいのは、がんになって治療しても日常生活を送る事ができるというメッセージです。それをこれからも伝え続けていき、一つでも社会に貢献できるような人間になりたいと思っています」と呼びかけました。

■インナーブランド「Rafra Lunica（ラフラ ルニカ）」新商品発表会 開催概要

【日時】2026年2月19日(木) 14:00～15:00

【会場】明治記念館 相生の間【東館1階】（東京都港区元赤坂2丁目2-23）

【出席者】・梅宮 アンナ さん

- ・株式会社アデランス 医療事業部 部長 鈴木 成仁
- ・株式会社アデランス 医療事業部 渡部 瑚乃美
- ・株式会社アデランス 展示会企画室 室長 伊藤 あおい

■「Rafra Lunica（ラフラ ルニカ）」について

医療事業の総合ブランド「ラフラ®」のインナーブランドとして「ラフラ ルニカ」は誕生しました。ブランド名は、「Luna（月）」と「Medical（医療）」を掛け合わせた造語で、さまざまな悩みを抱える患者さまの、“回復への道を月明かりのようにやさしく照らす光でありたい”という想いを込めて名付けました。

※ラフラ、ラフラ ルニカの商品は治療器具ではなく、病気の治療や予防の効果はありません



■商品概要

発 売 日：2026年2月23日（月）

サ イ ズ：M～L、L～LL（2サイズ展開）

カ ラ ー：片胸用ブラ（ベージュとブラック）、前開きブラ（ピンクとブラック）

税込価格：3,300円

販 売 店：・病院内へアサロン こもれび®

・アデランス外見ケアショップ（アデランスマイリー：<https://medical-aderans.com/>）

商品サイト：<https://www.aderans.co.jp/medicare/care/rafra-lunica.html>



株式会社アデランスは、「Everything for a smile（すべては笑顔のために）」をコーポレートスローガンに制定しています。海外を含むグループ会社共通の理念とし、グローバルウェルネスカンパニーとして、これからも社会に笑顔の輪を広げ、夢と感動を提供し続けていきます。